



考える

## まとめ

### よき使い手になるために

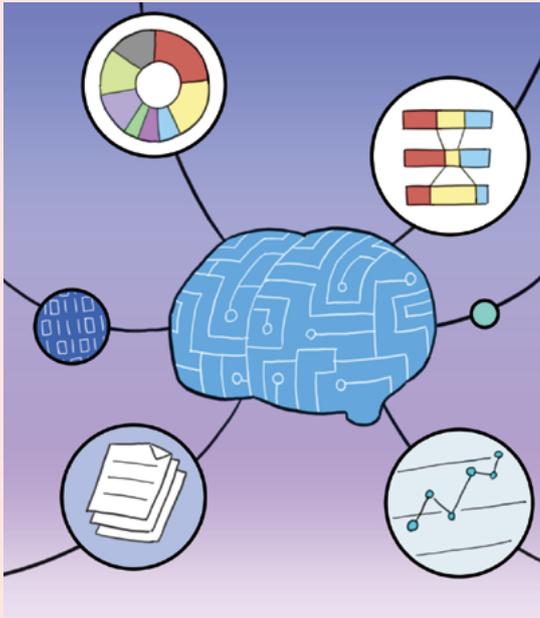
「考える」ためには、<sup>じょうほう</sup>情報を整理しておくことが重要です。その整理をするためには、<sup>たんまつ</sup>端末は<sup>ゆうこう</sup>有効な<sup>しゅだん</sup>手段になります。もちろん、じっくり考えたいときは、<sup>たんまつ</sup>端末ではなく、紙とえんぴつの方が考えやすいこともあります。「考える」ために、どの方法がもっともよいのかを考えてみましょう。

### チェックしてみよう

- <sup>わたし</sup>私は、<sup>じょうほう</sup>上手な情報の分類の方法について説明できる
- <sup>わたし</sup>私は、データからどんなことが言えるかを<sup>ぶんせき</sup>分析できる
- <sup>わたし</sup>私は、<sup>たんまつ</sup>端末をどんなことに、どのくらいの時間使っているか説明できる
- <sup>わたし</sup>私は、いろいろなデータをきちんと<sup>よ</sup>読み<sup>と</sup>解くことができる



## これからの社会では



AI（人工知能）は「考える」ことが得意なのでしょうか？ AI が得意な「考える」ことには、たくさんの情報を分析し、そこから考える（予測する）ことが挙げられます。例えば、たくさんの売上に関する情報を分析し、明日この商品がどれくらい売れるかを予想することは、AI が得意としています。AI は、「たくさんの情報を覚えたり、与えられた問題を考えたりする」ことが得意なのです。

考えてみよう①

人間よりも AI が向いていることには、どのようなことがあるだろうか？

考えてみよう②

AI よりも人間が得意なこと、人間にしかできないことは、どのようなことがあるだろうか？